



主催…(一社)おきなわ芸術文化の箱 支援…沖縄県(公財)沖縄県文化振興会 平成30年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業  
 後援…那覇市「協働によるまちづくり」を推進するための後援承認事業

# 演劇のある街をつくる

シンポジウム シリーズ 演劇の話をしよう 第一弾 演劇×地域

2017年「アトリエ銘苅ベース」もオープンし、沖縄県内各地で多彩な公演が日々行われています。「演劇」の魅力、「演劇」の可能性とはー

演劇×地域をテーマに、演劇と地域社会はどう結びつくことができるのか、演劇がそこに“ある”ことの意味を、2つの事例を参考に考えます。

**参加無料**

**日時** 2019年1月13日(日) 16:30~18:00  
 [①事例紹介 ②トークセッション ③質疑応答]

お申込は  
↓から

**場所** アトリエ銘苅ベース (那覇市字銘苅203番地)



<http://www.m-base.okinawa>

**【スピーカー】**

永山智行 (劇作家・演出家・劇団こふく劇場代表)

1967年宮崎県都城市出身。1990年劇団こふく劇場を旗揚げ。1996年にこまばアゴラ劇場の大世紀末演劇展に『北へ帰る』で参加以降、活動の範囲を全国へと広げる。1999年からは宮崎県内の二つの町(門川町・三股町)の文化会館のフランチャイズカンパニーとしての活動をはじめ、ワークショップ、小学校巡回公演、町民参加作品の創作など、教育・普及活動の一端を担う。2012年より、三股町・三股町教育委員会との共催で、町民が書いた戯曲を町民出演者と九州で活躍する演出家を結び付け上演する「みまた演劇フェスティバル『まちドラ!』」を開始。より地域に根差し地域住民との深い関わりなくしては成し得ない事業を続けるとともに、劇団の作品を全国で上演する活動を積極的に行っている。

鈴木拓 (boxes Inc.代表・杜の都の演劇祭プロデューサー)

1978年宮城県仙台市出身。高校演劇を経て、舞台監督として三角フラスコに参加。退団後、2000年に演劇企画集団-きらく企画-を立ち上げ。2004年東京国際演劇祭リージョナルシアターシリーズ参加。2006年より2009年まで演劇専用空間GalleryOneLIFEを仙台市街なかで運営。2008年杜の都の演劇祭プロジェクトに参加。2010年よりプロデューサーに就任。2011年3月の東日本大震災を機に設立した、文化による復興支援組織ArtRevivalConnectionTOHOKU(震災で失われた文化・芸術に関する“ひと・まち・場の再生”を目的とし、避難所や学校のニーズを調査したり、公演やワークショップを行う)事務局長。仙台を中心に東北の舞台芸術の活性化を目的に、2012年8月boxes Inc.を設立、同代表。震災後に生まれた様々な繋がりをより有機的且つ継続していくため活動。マネジメントとテクニカルの両側面からカンパニーを支える役割で東北発信のカンパニーをサポートしている。

**【ゲスト】** 親川さおり (那覇市文化振興課)

**【進行】** 野村政之 (演劇制作者・前・(公財)沖縄県文化振興会チーフプログラムオフィサー)

同時  
開催

**劇団こふく劇場第15回公演 『ただいま』 沖縄公演**

穏やかに日常を暮らす、その普通の人々のかけがえのないホームドラマ  
 永山智行 作・演出

1月12日(土) 19時  
 1月13日(日) 14時

前売一般2,500円 U25 1,000円  
 詳細&ご予約は銘苅ベースHPにて

**連動企画 演劇を作ろう! 『轻便鉄道物語』 創作ワークショップ**

戦前、銘苅ベースの近くにあった轻便鉄道・内間駅と安里駅について調べ、拾い集めた物語を、新しい演劇作品の創作につなげていく為のワークショップを開催しています。今回は永山氏、鈴木氏をゲストに迎えて作品創作のレクチャー・ディスカッションを行います。一緒に演劇を作りませんか?見学も歓迎!

1月14日(祝) 10時~12時  
**参加無料・申込不要 対象:どなたでも**

会場に駐車場はありません。公共交通機関、コインパーキングをご利用ください。

問合せ:(一社)おきなわ芸術文化の箱 [oact@m-base.okinawa](mailto:oact@m-base.okinawa) TEL 090-9688-1221 (キタズミ) HP <http://www.m-base.okinawa>

